学校番号	2101

平成３１年度　家庭科

教科	家庭科	科目	家庭総合ｂ	単位数	２単位	年次	全年次
使用教科書	家庭総合　ともに生きる　明日をつくる　（教育図書）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・実践的・体験的な学習を通じて、学んだことを自分の生活に活かしましょう。
・自らの生活における様々な現象や課題について興味を持って考え、家庭や地域の生活を向上させるために必要な基礎的・基本的な知識を身につけましょう。
・被服実習を通じて、手作りの楽しみや達成感を味わいましょう。

2　学習の到達目標

・子どもの発達と保育、衣生活・住生活の科学と文化に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭・地域生活の充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	子どもの発達と保育、衣生活･住生活の科学と文化などに関心を持ち､興味を持って考え､その充実向上のため､主体的に取り組む態度を見につけている。	子どもの発達と保育、衣生活･住生活の科学と文化などに関心を持ち､興味を持って考え､その充実向上のための課題を見出し､解決のために思考を深め､工夫して取り組む能力を見につけている。	子どもの発達と保育、衣生活・住生活の科学と文化などに関する基礎的・基本的な技術を身につけている。	子どもの発達と保育、衣生活・住生活の科学と文化などに関する基礎的・基本的な知識を身につけている。
評価方法	・学習状況の観察（実習を含む） ･ワークシート等の記述 ・実習の記録 ・自己評価　等	・学習状況の観察（実習を含む） ･ワークシート等の記述 ・実習の記録 ・自己評価　等	・学習状況の観察（実習を含む） ・ワークシート等の記述 ・実習の記録 ・自己評価 ・被服実習の作品の評価 ・定期考査・実技テストの結果　等	・学習状況の観察（実習を含む） ・ワークシート等の記述 ・実習の記録 ・自己評価 ・被服実習の作品の評価 ・定期考査・実技テストの結果　等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4月	衣生活	○家庭総合bの学び方 ○被服実習 ＜刺し子のエプロン＞	○	○	○	○	a:刺し子の技法について関心を持ち、意欲的に実習に取り組んでいる。 b:刺し方をよく考え、丁寧にかつ安全に配慮して実習に取り組んでいる。 c:正しく刺し子で模様を描くことができる。 d:日本伝統の刺し子の技術と伝統的な文様について理解し、知識を身につけている。	授業観察 ワークシート 定期考査
5月	衣生活	○被服実習 ＜刺し子のエプロン＞ ○なぜ服を着るの？ ・衣服の機能 ・人の一生と衣服 ○衣服の成り立ちと性質 ・衣服の材料 ・布の成り立ち ・衣服材料の性質・性能 ○衣服はどのように管理する？ ・衣服の表示 ・衣服の手入れ	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a:衣服の機能やライフステージに応じた衣服の選択について考え、その成り立ちについて主体的に学ぶ態度を身につけている。 b:繊維の種類や特徴について興味を持って学び、それらの扱いについて思考を深めている。 c:自らの衣服について繊維の特徴や布の構造に適した扱いをするための技能を身につけている。 d:繊維の特徴や布の構造、取り扱い絵表示を理解し、自らの生活に活かすために基礎的・基本的な知識を身につけている。	授業観察 ワークシート 定期考査

6月	保育	○赤ちゃんはなぜかわいい？ ○子どもはどう育つのだろう？ ・子どもの成長のようす ・発育・発達の特徴 ・コミュニケーション能力の発達 ○親になるとはどういうことか？ ・ビデオ 「幼児の生活と家族」	○ ○	○ ○	 ○	○ ○	a:子どもの発育や発達について関心を持ち、主体的に学ぶ態度を身につけている。 b:子どもの成長のようすや、親になるということについて興味を持って学び、思考を深めている。 c:発育・発達の特徴を理解し、将来子どもの世話をするための基礎的な技能を身につけている。 d:子どもの発育・発達の特徴、子どもの生活に必要な環境、将来親になるために必要な基礎的・基本的な知識を身につけている。	授業観察 ワークシート 定期考査
7月	住生活	○だれが暮らしているのだろう？ ・住まいの役割 ・生活行為と間取り ・動線とゾーニング ・平面図を読み解く ○実習 ＜私の住みたい家の平面計画＞ ・平面図の下書き ・下書きを元にシール教材を使い、平面図を構成する。 ○どのように暮らす？ ・安全に暮らす ・家庭内事故 ・犯罪を予防する	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ 	○ ○ ○	a:住まいの役割とその機能について興味を持ち、主体的に学ぶ態度を身につけている。 b:住みやすい住まいの間取りやゾーニングについて思考を深め、実際に生活する上で留意すべきことについて考えることができる。 c:住みやすく、安全に生活できる住まいを考え、自ら間取りを設計する技能を身につけている。 d:動線とゾーニングを考慮した平面構成の方法や、安全な住まいについての基礎的・基本的な知識を身につけている。	授業観察 ワークシート 定期考査 実習観察 平面図
8月		前期期末考査						

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。